



2 0 2 5 年 1 0 月 2 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

鉄構労の皆さん、ようこそ J R 連合へ！

鉄道運輸機構労働組合（鉄構労）は、本年 9 月 5 日に開催した鉄構労第 62 回定期大会において、J R 連合への加盟申請を機関決定し、10 月 14 日に J R 連合への加盟申請を行った。J R 連合は、10 月 22 日に開催した第 5 回執行委員会において、鉄構労の加盟を承認し、鉄構労に所属する 750 名を J R 連合の仲間として迎えるとともに、大野友和中央執行委員長を J R 連合の特別執行委員として指定した。



鉄構労大野委員長（右から 2 番目）と松本書記長（右端）

鉄構労は、新幹線建設や在来線の新線整備等の事業に携わる「鉄道建設・運輸施設整備支援機構（J R T T）」の仲間が集う労働組合であり、交運労協に加盟する仲間でもある。事業の内容からとりわけ J R 連合との関わりが深く、これまでも整備新幹線計画の推進等をはじめとする産業政策等について、幾度となく意見交換を重ねてきた。



有意義な意見交換を重ねてきた

また、2023 年 2 月には、J R 連合と鉄構労が共同で「地域活性・発展の礎となる鉄道網の構築を目指して～高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進に係る政策提言～」を策定し、関係各所へ高速鉄道の必要性・有用性を訴えてきた。

鉄道建設の中でも、特に整備新幹線建設をめぐる環境は、少子化による人口減少に加え、各種資材の高騰や建設業における人手不足などの影響により一層厳しくなっている。しかし、高速鉄道・新幹線ネットワークを拡充することが、国土の均衡ある持続的な発展につながり、地域・社会の発展に寄与していくことは、これまでの新幹線整備の実績からみても明らかである。

今回、鉄構労が J R 連合への加盟を果たしたことで、両者の連携をより一層密にし、これまで以上に高速鉄道・新幹線ネットワーク構築の有用性を訴えていくこととする。

地域活性・発展の礎となる
鉄道網の構築を目指して

～高速鉄道・新幹線ネットワークの構築と計画推進に係る政策提言～

2023年2月

（策定）日本鉄道労働組合連合会（JRTU） 鉄道運輸機構労働組合

鉄構労とともに策定した「提言」